金　日　成

農村テーゼの完全な実現のために

全世界の労働者団結せよ！

金　日　成

農村テーゼの完全な実現のために

朝鮮・平壌
外国文出版社
1982

目　次

わが国における社会主義農村問題にかんするテーゼ
――朝鮮労働党中央委員会第四期第八回総会で採択――
（一九六四年二月二十五日）……一
一　社会主義のもとにおける農村問題解決の基本原則……三
1　農村における技術革命、文化革命、思想革命……五
2　農民にたいする労働者階級の指導、農業にたいする工業の援助、農村にたいする都市の支援……九
3　農業にたいする指導と管理、全人民的所有と協同的所有との連係……一三
二　社会主義農村建設の基本課題……一七
1　農村の技術革命……一八
2　農村の文化革命……二四
3　農村における思想革命……二七

4　農村にたいする支援 …… 三〇
5　協同農場にたいする国家的指導 …… 三三
三　社会主義農村建設における郡の役割と任務 …… 三九
1　郡内の地方工業の役割 …… 四二
2　農村への供給基地としての郡 …… 四四
3　農村の文化革命の拠点としての郡 …… 四六
4　農村活動にたいする郡党委員会の指導 …… 四八
四　協同農場の経済的土台を強め、農民の生活を向上させるための当面のいくつかの対策 …… 五一
1　農業現物税制の廃止 …… 五三
2　国家の負担によるあらゆる農村基本建設の実施 …… 五五
3　国家の負担による農村文化住宅の建設 …… 五六

社会主義農村の建設をはやめ、郡をりっぱにきずくために

――朝鮮労働党市・郡委員会責任書記協議会でおこなった演説――

（一九六八年九月二十四日） …… 六〇

一　社会主義農村の建設をはやめるために……六一
二　郡をりっぱにきずき、その役割を高めるために……七八

社会主義農村建設でかちとった偉大な成果を
いっそう強化発展させよう
——全国農業大会でおこなった演説——
（一九七四年一月十日）……八八

農村テーゼの完全な実現のために提起されるいくつかの問題
——朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第五期第四回会議でおこなった演説——
（一九七四年十一月二十九日）……一三〇

わが国における農村問題解決の経験について（抜粋）
——国家・経済機関幹部との談話——
（一九七八年七月二十八日）……一四三

三　農村における思想革命、技術革命、文化革命について……一四三

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbo

四　社会主義農村建設における郡の位置と役割について……一三
わが国の社会主義農業を新たな段階に発展させよう
――全国農業大会でおこなった演説――
（一九七九年一月十一日）……一七四

わが国における社会主義農村問題にかんするテーゼ

――朝鮮労働党中央委員会第四期第八回総会で採択――

（一九六四年二月二十五日）

マルクス・レーニン主義の創始者たちは、農民問題、農業問題に大きな意義を与え、この問題の解決に深い関心を払った。とくにレーニンは、農民問題を革命の基本的な戦略問題として提起し、農村問題を社会主義・共産主義建設のもっとも重要な構成部分とみなした。レーニンは、農民問題の正しい解決と労農同盟の強化が、革命で勝利する決定的な裏づけであると教え、社会主義革命の段階における農村問題解決の明確な方途と農村における社会主義建設の道を示した。

農村問題は、かつて帝国主義と植民地主義の支配下にあったか、あるいはいまなおその支配下にある諸国において、とくに重要な意義をもつ。これらの国ぐにおいて、農民問題、農業問題を成功裏に解決するかいなかは、革命の勝敗と社会の進歩を左右する根本的問題となっている。

都市と農村における社会主義革命の勝利は、農民問題、農業問題の解決にとって歴史的な転換点となる。

社会主義革命が勝利した後にも、農村問題は社会主義・共産主義の建設できわめて重要な位置を占める。

農民は労働者階級の信頼すべき同盟者であり、社会主義建設の強力な力量である。労働者階級の指導のもとに、たえず労農同盟を強めてこそ、社会主義・共産主義建設を力強くおし進めることができる。

農業は工業とともに人民経済の二大部門の一つであり、それは住民に食糧を保障し、軽工業に原料を供給する。工業を発達させ、たえずその指導的役割を高めると同時に、農業を工業の発達に追いつかせてこそ、人民経済全般の急速な発展を期待することができ、人民の生活を系統的に向上させることもできる。

農民問題、農業問題は、都市と農村との差、労働者階級と農民との階級的差をなくしてのみ、最終的に解決される。

農村問題を最終的に解決し、農民を共産主義社会にまで導いていくのは、共産主義者と労働者階級の崇高な任務である。

マルクス・レーニン主義の党は、社会主義制度が確立した後にも、ひきつづき革命をおし進め、

最後までそれをなし遂げるために、すべての勤労人民の利益を徹底して擁護するために農村問題の解決に力を集中すべきである。

一　社会主義のもとにおける農村問題解決の基本原則

農村問題は革命発展の各段階において、それぞれ異なった形で提起される。

反帝反封建民主主義革命の段階における農民問題と農業問題は、農村の封建的土地所有関係を一掃して農民を地主の搾取と従属から解放し、農業生産力を封建的生産関係の束縛から解放することであった。われわれは、地主の土地を無償で没収し、無償で農民に分け与える原則にもとづき、土地改革を徹底的に遂行することによって、この問題を成功裏に解決した。

社会主義革命の段階における農民問題と農業問題は、農村から資本主義的要素を一掃し、個人農経営を社会主義的集団経営に改造することによって、農民をあらゆる形態の搾取と抑圧から永久に解放し、私的所有にもとづく古い生産関係の束縛から農業生産力を完全に解放することであった。われわれは、実物教育と自発性の原則にもとづいて、また党と国家の強力な指導と援助に依拠して農業の社会主義的協同化を実現し、この問題をりっぱに解決した。

社会主義農業経営制度は、個人農経営や資本主義農業経営制度よりも決定的な優位性をもっている。それは、農業生産力発展の大道を開き農民の物質・文化生活を急速に向上させる可能性を与える。

問題は、社会主義制度のもとで、農村活動をどのように進め、農業をどのように発展させるかにかかっている。

社会主義制度が都市と農村で勝利した後には、農村問題は、それ以前とは根本的に異なった形で提起される。

社会主義のもとにおける農民問題と農業問題は、農村にうち立てられた社会主義制度をたえず強化し、それにもとづいて農業生産力を高度に発展させ、農民の生活を豊かにし、搾取社会が残した農村の後進性を一掃し、都市と農村との差をしだいになくすことにある。

社会主義農業経営制度を強化し発展させながら、しだいに都市と農村との差をなくすのは、社会主義を建設し、共産主義への移行を準備するうえでもっとも基本的な問題の一つである。これは長期にわたるたゆみない闘争と努力によってのみ完全に解決できる、複雑かつ困難な課題である。

わが国でこの課題は、すでに社会主義的改造の完成とともに提起された。われわれの農村活動は、当然この課題を解決する方向で進められなければならない。

社会主義のもとにおける農民問題と農業問題を成功裏に解決するためには、必ず農村活動におい

て三つの基本原則をゆるぎなく堅持しなければならない。

第一に、農村で技術革命と文化革命および思想革命を徹底して遂行すること、

第二に、農民にたいする労働者階級の指導、農業にたいする工業の援助、農村にたいする都市の支援を全面的に強めること、

第三に、農業の指導と管理をたえず工業の先進的な企業管理の水準に接近させ、全人民的所有と協同的所有の結びつきを強め、協同的所有をたえず全人民的所有に接近させることである。

1　農村における技術革命、文化革命、思想革命

社会主義を全面的に建設し、共産主義への漸次的移行を準備するためには、革命を継続しなければならない。

搾取階級が一掃され、社会主義的改造が完成した後にも、都市と農村との差が残り、労働者階級と農民の階級的差が残っていること自体が、革命をつづけなければならず、とくに農村で革命をいっそう徹底して遂行しなければならないことを物語っている。もし、社会主義的協同化が実現されたからといって革命を中断するならば、民主主義革命と社会主義革命を通じて高まった農民の熱意をひきつづき堅持することはできず、それをさらに高めることもできない。農村において革命をつ

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbo

づけなければ、社会主義農業経営制度を強化し発展させることはできず、その優位性を発揮させることも、都市と農村との差をなくすこともできない。

技術革命、文化革命、思想革命――これは、社会主義的協同化が完成した後、農村で遂行すべき中心的な革命課題である。

都市にたいする農村の後進性は、まず農業の物質的・技術的土台が工業より弱く、農村の住民の文化水準が都市の住民より低く、農民の思想・意識が労働者のそれより立ち後れているところに現われている。もちろん、このような立ち後れは、古い社会の遺物であり、それが社会主義のもとでひきつづき残るのは、工業および都市の発展水準とも大きな関連がある。まさに、こうした後進性のため、全人民的所有が支配する工業とは違って、農業では協同的所有が支配的な形態として残るようになり、したがってまた、労働者階級と農民との階級的差が残ることになる。

それゆえ、社会主義農業経営制度を強化し発展させ、都市と農村の差をなくし、労働者階級と農民との階級的差をなくすためには、社会主義的工業と都市の急速な発達にもとづいて、なによりもまず農村で技術革命、文化革命、思想革命の三つの革命を遂行し、この三つの分野で農村の後進性を克服しなければならない。

農村における技術・文化・思想革命の課題は、互いに密接に結びついており、それらは統一的な過程として遂行されなければならない。

なかでも思想革命は、すべての活動に優先させるべきもっとも重要で、もっとも困難な革命課題である。技術革命と文化革命だけにかたより、思想革命をおろそかにするのは重大な誤りである。

社会主義のもとでも階級闘争はつづけられる。社会主義農村における階級闘争は、外部から侵入する敵対分子とくつがえされた搾取階級の残存分子の破壊策動に反対する闘争として現われ、また、農民の意識に残っている古い思想の残りかすに反対する思想闘争として現われる。農民の階級的自覚を高め、かれらのあいだで思想闘争を強めることなしには、農村の社会主義制度を強化することも、この制度を敵の侵害から守りとおすこともできない。

社会主義の優位性、社会主義の生命力は、なによりもまず、この制度のもとでは搾取と抑圧から解放された勤労者が、共同の目的と利益のためにかたく団結し、同志的に緊密に協力し、自覚的に熱意を発揮して働くところにある。農民の思想・意識水準を高めることなしには、農村で社会主義のこの本質的な優位性を発揮させることができず、したがって農業生産と技術、農村文化も速やかに発展させることはできない。

社会主義制度がうち立てられ、生活が向上するからといって、農民の思想・意識がおのずと改造されるものではない。もちろん、社会主義制度の勝利は、古い思想を生む経済的基礎を一掃し、新しい思想で農民を武装させることのできる社会的・物質的条件をつくりだす。しかし、社会主義のもとでも農民の意識には古い思想の残りかす、とくに小所有者的根性が長いあいだ残るものであり、

思想活動が弱まるとそれが再び頭をもたげ、さらに助長されるおそれがある。ただ長期間にわたる忍耐強い教育と不断の闘争を通してのみ、農民の思想・意識を完全に改造することができる。

思想革命がもっとも重要だということは、決して技術革命や文化革命をおろそかにしてもよいということを意味するものではない。

社会主義・共産主義は、生産力の高度の発展水準を要求し、勤労者の高い文化水準を要求する。社会主義・共産主義を建設するのは、結局、全人民の幸せな生活を保障し、たえず増大するかれらの物質的・文化的需要をより完全にみたすためである。

農村で技術革命と文化革命を遂行しなければ、農業生産力を発展させることはできず、農民の物質・文化生活を向上させ、かれらを骨のおれる労働から解放することもできない。農業の物質的・技術的土台を強化し、農民の文化水準を高めることは、かれらの思想・意識を改造するうえでも重要な条件となる。思想革命の重要性だけを強調し技術革命と文化革命をおろそかにするのも、やはり誤りである。

われわれは、あくまで思想革命を優先させつつ、それと並行して、技術革命と文化革命を強力におし進めなければならない。こうして、農民の思想も改造し、農業の物質的・技術的土台も強化し、農村住民の文化水準も高めなければならない。

2　農民にたいする労働者階級の指導、農業にたいする工業の援助、農村にたいする都市の支援

労働者階級の党と国家の指導、援助は、農村における社会主義制度の発生と強化発展にとって欠くことのできない条件である。農民は、ただ労働者階級の指導と援助のもとでのみ、社会主義への道を進むことができ、ひいては共産主義へ移行することができる。

労働者と農民は、同じ目的と理想のために力を合わせてたたかう同盟者であり、いずれも社会主義的勤労者である。全人民的所有と協同的所有は、互いに密接なつながりをもって発展する社会主義的所有の二つの形態であり、ひとしく社会主義国家の経済的基礎をなしている。社会主義国家は労働者、事務員の生活だけでなく農民の生活にたいしても責任を負い、全人民的所有の発展ばかりでなく協同的所有の発展にたいしても責任を負う。個人農経営のときには、主に個々の農民が、自分の経営と生活にたいして責任を負ったが、協同化された後には、党と国家が責任をもって協同農場の発展と農民の生活をかえりみなければならない。

工業は人民経済の指導的部門であり、都市は政治、経済、文化のあらゆる面で農村より進んでいる。指導的部門である工業が農業を援助してこそ、農業を工業と同じく近代技術で装備することが

でき、先進的な都市が農村を支援してこそ、立ち後れた農村を都市の水準に引き上げることができる。

それゆえ、社会主義的協同化が完成した後、農村の技術革命、文化革命、思想革命を強くおし進め、都市と農村との差をしだいになくしていくためには、農村にたいする党と国家の指導および援助を全面的に強め、都市が農村を積極的に支援しなければならない。

もちろん、わが国のように、かつて立ち後れた農業国であった国では、革命が勝利した後、社会主義的工業化のためにしばらくは、農村からある程度の資金を引き出さざるをえない。こうした社会主義国で、近代的工業を創設するために農民が資金を支出するのは、社会全体の利益のためであり、農業の将来の発展と農民の生活向上のためにも欠くことのできないことである。

しかし、いったん社会主義工業の基礎をきずきあげた後は、工業が農業の支援に方向を変えなければならない。そのときからは、あらゆる分野にわたって、より強力に農村を支援しなければならない。

労働者階級は政治的、思想的に農民を指導するばかりでなく、物質的、技術的、文化的、財政的にも農民に援助を与えなければならない。社会主義国家は、農民の負担を軽減し、収入を増加させるために全面的に努力し、労働者と農民の生活水準を均等に高めるようにしなければならない。

もし、農村活動をおろそかにして農村を援助せず、はなはだしくは農業を犠牲にして工業だけを

発展させ、農村を犠牲にして都市だけを建設するならば、都市と農村との差はなくならないばかりか、ますます大きくなるであろう。これでは農民の積極性を発揮させることはできず、農業を発展させることも、農民の生活を向上させることもできない。結局これは、工業そのものと人民経済全体の発展に支障をきたし、社会主義・共産主義の建設に大きな損失をもたらすことになるであろう。

農村を軽視する思想はブルジョア思想である。資本主義のもとでは、都市が農村を搾取し、農村が都市に比べて立ち後れるのが法則となっている。

共産主義者は、農村を軽視する思想を決定的に排し、権力を握ったその日から、資本主義が残した農村の後進性をなくすためにたたかう。社会主義のもとでは、都市が農村を援助し、おくれた農村があらゆる分野で都市の水準にますます接近していくのが合法則的である。

われわれは、労働者階級の力を強化し、工業と都市をいっそう発達させながら、たえず農民にたいする労働者階級の指導、農業にたいする工業の援助、農村にたいする都市の支援を強めて、都市と農村との差を一歩一歩ちぢめていかなければならない。こうしてのみ、農民の積極性をひきつづき発揮させ、農業を急速に発展させ、農民の生活を向上させることができる。これは結局、工業そのものと人民経済全体の発展をいっそう促進し、社会主義・共産主義の建設を早めることになるであろう。

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbo